

LOGOS × SENGOKU ALADDIN

ポータブル ガスストーブ

シルバークイーン

取扱説明書

型式 **81060035**

このたびは、お買上げいただき、まことにありがとうございます。
とうございました。

■ LOGOS × SENGOKU ALADDIN
ポータブルガスストーブを安全に正しく
ご使用いただくために、ご使用前に必ず
この「取扱説明書」をよくお読みください。
そして必要な時に読み返しができるように
必ず保管してください。裏表紙が保管書に
なっています。

■ 本商品は利便性を追求した簡易ガス器具
です。過酷な使いかた、特殊なご使用をさ
れますと、やけどや火災など思わぬ事故の原
因となったり、本商品の焼損のおそれがあ
ります。本取扱説明書に記載されている内
容を十分ご理解の上でご使用ください。
この機器は国内専用ですので、海外で使
用しないでください。

保証書付

日本国内専用
Use only in Japan

家庭用

屋内・屋外兼用

もくじ

ページ

ご使用の前に

ご使用の前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
特に注意していただきたいこと・・・・・・1～7

使いかた

各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
安全装置が作動したときの処置方法・・・・・・9
正しい使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・10～11

お手入れ・保証

日常の点検・お手入れ・・・・・・・・・・12
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
故障・異常の見分けかたと処置方法・・・・13
このような時は故障ではありません・・・・13～14
保管（長期間使用しない場合）・・・・・・14
アフターサービス・・・・・・・・・・14
お客様の個人情報のお取り扱いについて・・・・14
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙



- 圧電点火装置付
- 圧力感知安全装置付
- 不完全燃焼防止装置付
- 立消え安全装置付
- 転倒時消火装置付
- ヒートパネル搭載

正しく使って上手に節約

ご使用
前に

使
いか
た

お
手
入
れ

保
証

ご使用の前に

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される場合を表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示の意味



特に注意していただきたいこと

1. ガス漏れ時使用厳禁（ガス漏れ時の処置）

危険(DANGER)

■ ガス漏れに気づいたときは

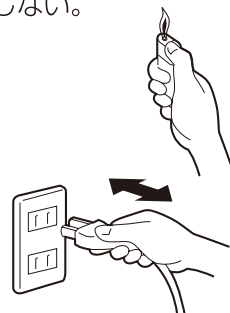
1. ガス漏れに気づいたときは、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を利用しない。

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

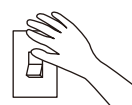


2. 窓や戸を開け、ガスを外に出す。

火をつけない。
プラグの抜き差しをしない。



電気器具（換気扇その他）のスイッチの「入・切」をしない



2.容器 (ボンベ) の過熱注意

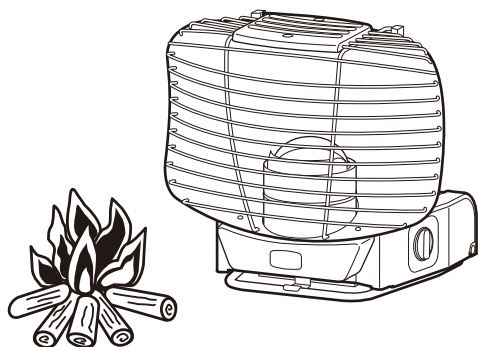
警告(WARNING)

下記のような使いかたは容器 (ボンベ) が過熱し、爆発の原因となりますので、絶対にしないでください

■火気の近くには置かない



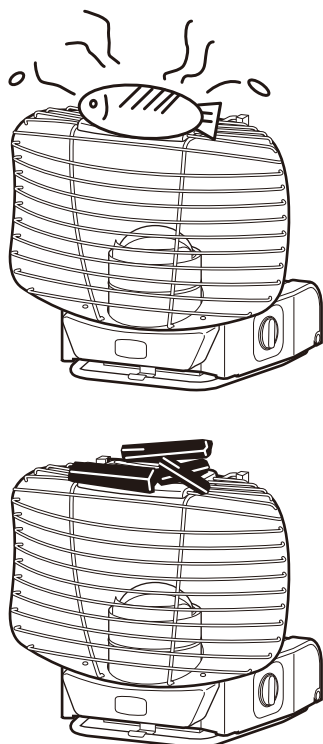
火気からの輻射熱により、容器 (ボンベ) が爆発するおそれがあります。



■暖房以外の用途には使用しない



過熱や異常燃焼により、機器の焼損や火災、容器 (ボンベ) の爆発のおそれがあります。

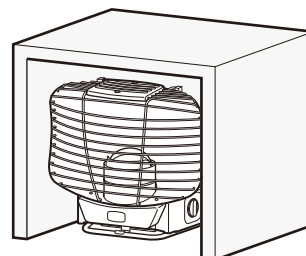


- この機器は暖房専用です。調理に使用したり、木炭の火起こしなどには絶対に使用しないでください。

■周囲を囲って使用しない



容器 (ボンベ) が過熱して爆発するおそれがあります。

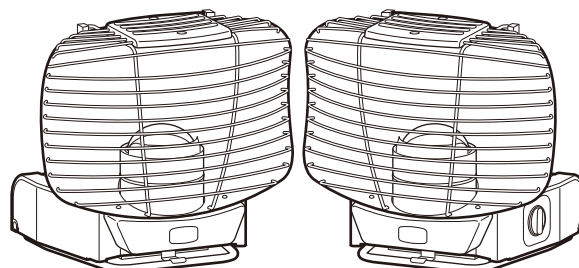


- 市販の風防や天ぷらガード、岩などで囲って使用したり、前面や上面を覆うようなことは絶対にしないでください。

■2台以上ならべて使用しない



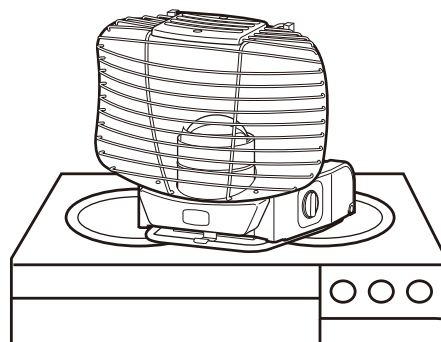
機器内に熱がこもり、容器 (ボンベ) が過熱して爆発するおそれがあります。



■電磁 (IH) 調理器・電熱器など熱を発生する器具の上では使用しない



間違えて電源等が入ると、容器 (ボンベ) が過熱して爆発するおそれがあります。



3.使用容器 (ボンベ) とその取扱いについて

⚠ 警告(WARNING)

■熱気のあたる場所に放置しない



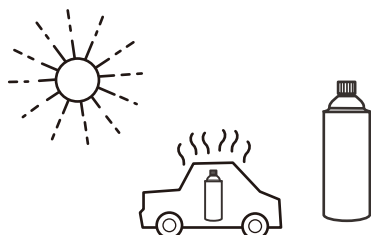
容器 (ボンベ) はファンヒーターやオーブントースターなど、熱気を発生させる器具の周囲や熱気のあたる場所には放置しないでください。熱で容器 (ボンベ) の圧力が上がり爆発の原因となります。



■火気や直射日光を避ける



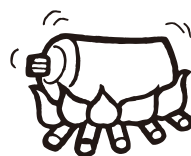
火気や直射日光、室内や車内の窓際などを避け、風通しが良く湿気の少ない40℃以下の場所にキャップをして保管してください。塩分のある場所や冷蔵庫も避けてください。機器内に容器 (ボンベ) を入れたままで絶対に持ち運びしないでください。



■容器 (ボンベ) を火の中に入れない



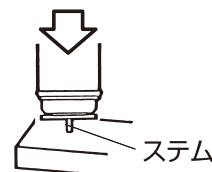
過熱、爆発し大きな事故になります。燃えるゴミに混入すると危険です。



■容器 (ボンベ) はガスを使い切ってから廃棄する



1. 容器 (ボンベ) を振ってサラサラと音がする時は、まだガスが残っています。必ず完全に使い切るか、火の気のない風通しのよい所でステム (先端) を押しつけて残りのガスを抜いてください。



2. 完全に使い終わってから他のゴミと区分し、地域の取り決めにしたがって分別廃棄してください。



⚠ 注意(CAUTION)

■専用の容器 (ボンベ) を使う

容器 (ボンベ) は、「SENGOKU ALADDIN」の表示のある専用容器 (ボンベ) を使用してください。他の容器 (ボンベ) を使用すると、ガス漏れなどの原因および正常な使用ができない場合があります。

■容器 (ボンベ) のガスを故意に吸い込まない

人体に害を与えることがあります。

■落下させるような場所で容器 (ボンベ) を保管しない

落下による破損やガス漏れによる引火のおそれがあります。

■容器 (ボンベ) に強い衝撃を与えない 変形のある容器 (ボンベ) は使用しない

お 願 い

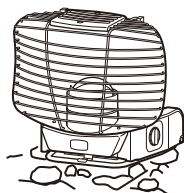
- 容器 (ボンベ) に表示されている注意事項を必ずお読みください。
- 使用時は容器キャップを取り外し、保管の時は容器キャップを押し込むだけにしてください。
- 保管している容器 (ボンベ) は、ときどき点検してさびが発生している時は、ガス漏れがないことを確認して、できるだけ早く使い切ってください。
- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

警告(WARNING)

■足場の悪い場所で使用しない



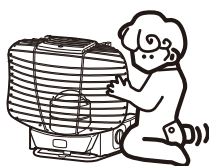
転倒によるやけどや、異常燃焼による容器の爆発のおそれがあり危険です。必ず水平で足場の安定した場所でご使用ください。



■幼児の手の届くところでは使用しない



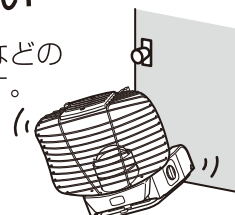
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。やけどや火災事故のおそれがあります。



■ドアの近くなどに置かない



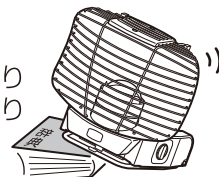
機器の転倒ややけどなどのおそれがあり危険です。



■傾斜のある場所など不安定な場所に置いて使用しない



本体が傾いたり、倒れたりすると火災のおそれがあります。

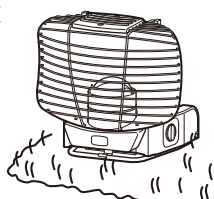


注意(CAUTION)

■毛足の長いじゅうたんの上や熱に弱い材質の上に置いて使用しない



じかにじゅうたんの上に置くとじゅうたんが変色することがあります。熱に弱い床には敷き板などを敷いてご使用ください。



■電気カーペット、温水マットの上には設置しない



機器の重みや熱で電気カーペット・温水マットが故障する場合があります。

■ペットの暖房用には使用しない

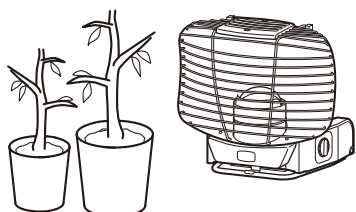


ペットが機器を傷め、火災の原因となります。

■乾燥室・温室・動植物の飼育室など、特殊な場所では絶対に使用しない



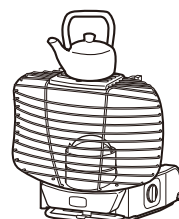
植物が枯れたり、動物が死亡するおそれがあります。



■水のかかる場所に設置しない。また、天板の上になべやかんなどを乗せない



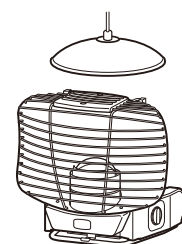
お湯がこぼれて消火したり、機器の異常過熱や落下して、やけどの原因になります。



■樹脂製の照明器具の下で使用しない



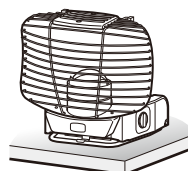
照明器具のかさなどが変形することがあります。



■熱の弱い床面には敷き板などを敷く



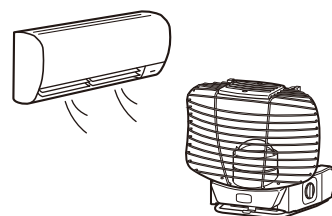
熱の弱い材質の床面は変色、ヒビ割れ、そり返りなどが発生することがあります。保護のため熱に強い敷き板などを敷いてください。



■エアコンや扇風機などの風を機器に当てない



風により消火したり、異常燃焼の原因になります。



警告(WARNING)



■ガス漏れに気がいたら、すぐに火を消す

ガスが漏れるとガスのにおい(くさった玉ねぎのようなおい)がします。ボタンガスは空気より重く下部にたまります。火気など引火の原因となるものは使用をしないですぐに次の処置を行ってください。

- ①直ちに火を止める。
(器具せんつまみを「消火」方向の止まる位置まで回す)
- ②容器カバーを開け、容器(ボンベ) を取出す
- ③窓や戸を開けてガスを外に出す



■狭い場所や換気の悪い場所では使用しない

テント内、車内、トイレ、浴室など狭い場所や換気の悪い場所では、絶対に使用しないでください。換気が悪いと酸欠により、窒息死や一酸化炭素中毒死になるおそれがあります。



■使用場所の周囲には、引火物や可燃物を置かない

機器の使用中は、周囲にガソリンなどの引火物や予備の容器(ボンベ) やスプレー缶を放置しないでください。引火や過熱により爆発のおそれがあります。



■火をつけたまま機器から離れない

火をつけたままその場を離れたり、眠り込んだりしないでください。可燃物への引火などにより思わぬ事故の原因となります。必ず火を消してから離れるようにしてください。電話や来客などの場合も、いったん火を消してください。



■容器(ボンベ) がセットされていて、着火していないのに器具せんつまみが「消火」以外の位置にあると、ガス漏れをおこし危険

使用しないときは必ず器具せんつまみを「消火」の位置にしてください。



■家具や壁など可燃物から右記以上離して使用する

壁などが熱せられ火災のおそれがあります。



■室内の次のような場所では使用しない。

- 物が落ちるおそれがある場所
- 新聞紙や段ボールなど燃えやすい物の上
- ガソリンなどの引火物やスプレー缶のそば
- 熱に弱い床には敷き板などを敷いてご使用ください



■燃えやすいものを近くに置かない

機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。また可燃物(家具・カーテン・洗濯物など)を機器に近づけないでください。火災の原因になります。



■引火のおそれのあるものを使用しない

機器の周囲では、予備の容器(ボンベ)・スプレー・ガソリン・ベンジン・塗料など引火のおそれのあるものを置いたり、使用したりしないでください。引火して火災のおそれがあります。



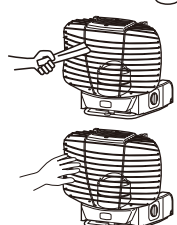
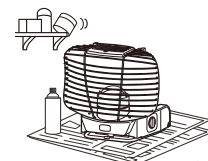
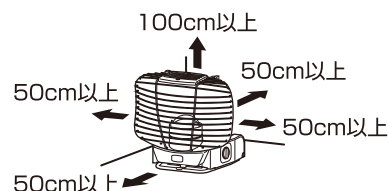
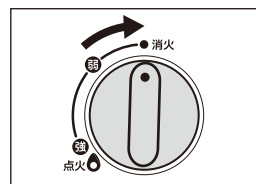
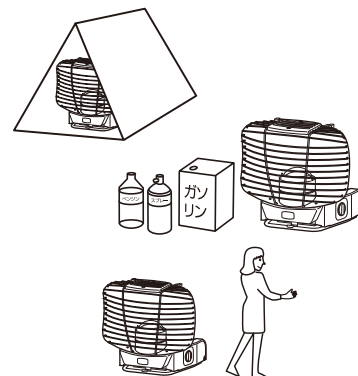
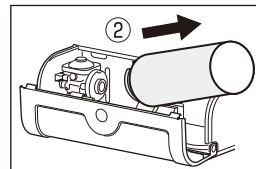
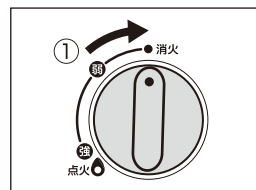
■機器にはものを入れない

機器の中に紙、布、異物などを入れたりふさいだりしないでください。不完全燃焼や火災の原因になります。



■使用中、天板、ガード、反射板、とって付近に手や顔を近づけない

高温になっていますので、やけどをするおそれがあります。



警告(WARNING)

■ガス漏れ



万一、ガス漏れが起こった場合は危険ですので使用しないでください。引火によるやけどのおそれがあります。

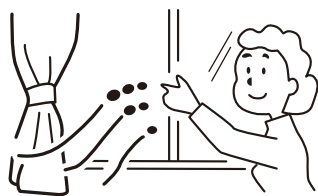
■必ず換気する

- 使用中は1時間に1～2回(1～2分)程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する



換気をしないと一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

換気は2力以上の(風の出入りのある)開口部を設けると効率よくできます。換気扇を使用する場合でも換気扇から離れた位置の窓を開けないと十分な換気ができない場合があります。



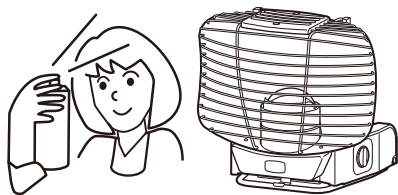
- 換気ができない場所では使用しない。

窓が凍結する場所や地下室など、換気ができない場所では使用しないでください。一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

■ヘアスプレーなどを近くで使用しない



機器を使用中に、周囲でヘアスプレーなど引火性のあるものを使用しないでください。引火による爆発のおそれがあります。



■スプレーや化学薬品を使用する場所では使わない



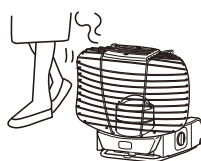
●スプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所(理・美容院や、メッキ・塗装工場など)では使用しない。

フロンガスや塩素系溶剤は、腐食性ガスの発生により金属がさびたり、刺激臭や異臭がする原因になります。また健康を害したり、機器故障の原因になります。

■使用中は機器に近付かない



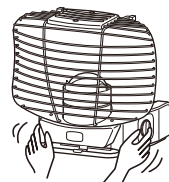
本体の前面や上面は高温になっています。近付きすぎますとやけどや衣類への引火のおそれがあります。



■使用中は動かさない



使用中に機器を動かしますと、液状ガスが機器に流れ込み、炎が大きくなる異常燃焼を起こします。



■強い風の吹き込む所では使用しない



炎が風で消えたり、異常燃焼の原因になります。

- 風などにより、炎のあふれや消火などが発生した場合は、直ちに使用を中止してください。

■雨など水のかかる場所や、塩気のある場所では使用しない



点火不良、さびの原因となります。

■改造はしない修理技術者以外の人、分解したり修理をしない



改造はしないでください。改造や分解をすると、事故の原因となるおそれがあります。

■着火の確認、燃焼状態の確認



点火後、放熱ネットが赤熱し、正常に燃焼していることを確認してください。

■再点火の際はガスのにおいがなくなったことを確認してから行う



- 溜まったガスに引火することがあります。

■使用後は容器(ボンベ)を取り外す



使用後は火災防止のため、容器(ボンベ)を必ず機器から取り外し、必ずキャップをして保管してください。セットしたまま保管すると、何らかの原因で器具せんつまみが回った場合、着火して危険です。

注意(CAUTION)



■ お子さまの手の届くところには置かない
大人の監視がゆきとどかない場所、あるいはお子様しかいない場所では使用しないでください。



■ 衣類や洗濯物などの乾燥に使用しない
燃え移ったりして火災のおそれがあります。



■ ガードを取り外さない
ガードは取り外しできません。取り外して使用するとやけどや火災のおそれがあります。



■ 使用中および使用後しばらくは、
天板、反射板、ガードが高温になるため、手を触れない
やけどや衣服への着火のおそれがあります。



■ 業務用として使用しない
この機器は一般家庭用製品ですので、業務用のような使いかたをされますと機器の寿命が著しく短くなります。



■ 機器の上に腰かけたり、乗ったりしない
落下、転倒などにより、ケガの原因になることがあります。また、機器の故障ややけどのおそれがあります。



■ 長時間に熱気に当たり続けたい
機器の近くでうたた寝をするなど、長時間無意識に熱気に当たり続けたいでください。体調悪化や健康障害、低温やけどの原因になります。



■ 補助具は指定のもの以外は使用しない
本体以外に風防や鍋、特殊な鉄板など応用機器の使用は絶対にしないでください。



■ 容器（ボンベ）の着脱は、風通しの良い、火気のない場所で行う



■ 使用時以外は、器具せんつまみを「消火」方向に止まるまで回して、消火したことを確認する



■ 器具せんつまみは「強」または「弱」の位置に合わせて使用する
器具せんつまみを「弱」の位置より小さくすると、火が消えるおそれがあります。



■ 使用後は、湿気の少ない場所に箱または袋に入れて保管する
そのまま放置していると虫や綿ぼこり等がガス通路に入り込み、異常燃焼や着火不良の原因となります。



■ 海拔1000mまでの標高で使用する
1000m以上で使用すると、点火不良などの原因になります。



■ 本体を移動させるときは、引きずらずに、必ず機器が完全に冷えてから、
とってを持ち上げて運ぶ
床を傷つけたり、やけどや火災のおそれがあります。



■ 使用中は定期的に換気する
この機器は気密の高い部屋などでは、壁や天井が結露する場合があります。必ず換気してください。



■ 使用しないときは、必ず容器（ボンベ）を取り外す

■ 異常時の処理

万一異常燃焼したときや、地震や火災など緊急の場合はあわてずに器具せんつまみを「消火」にし、容器（ボンベ）を本体から取りはずしてください。「故障・異常の見分けかたと処置方法」13 ページを参照し、処置してください。

お願い

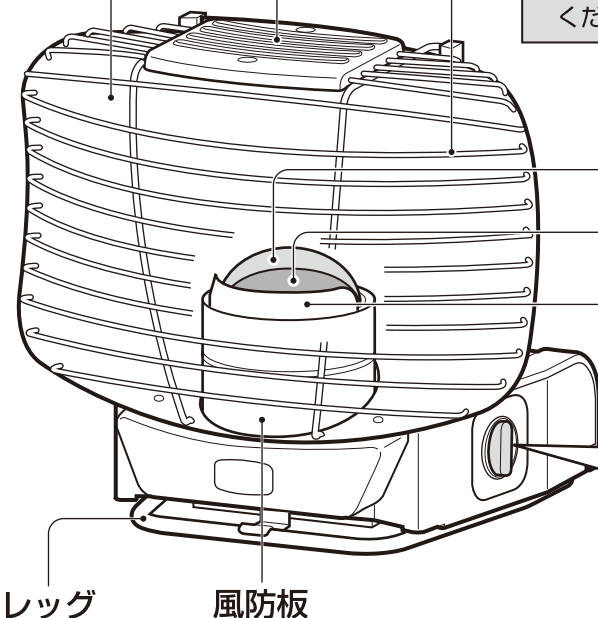
- 点火、消火時のほか、使用中には正常に燃焼しているかときどき確認してください。
万一容器（ボンベ）が過熱し内部の圧力が上昇した場合は圧力感知安全装置が働き、自動的に火が消えますので次のような処置をしてください。
 - (1) 器具せんつまみを「消火」の位置に戻し、容器カバーを開け、容器（ボンベ）を取り出してください。
 - (2) 容器（ボンベ）の温度が上がった原因を取り除いてから再使用してください。
容器（ボンベ）の温度が高い場合は、圧力感知安全装置が働いて、点火することはできません。容器（ボンベ）は必ず冷やすか、別の容器（ボンベ）を使用してください。
 - (3) リセットレバーを押してリセットしてください。（9ページ参照）
 - (4) ガス残量20g以下、または0℃近い低温時には点火直後から火力が弱くなる場合があります。
これは機器の異常ではありません。新しい容器（ボンベ）に取りかえてください。

各部のなまえ

本体

前面

反射板 天板 ガード



※ガードは開く構造ですが取り外しできません。分解したり、無理に取り外したりしないでください。

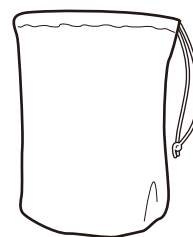
放熱ネットSA

放熱ネット(外)

放熱ネット(内)

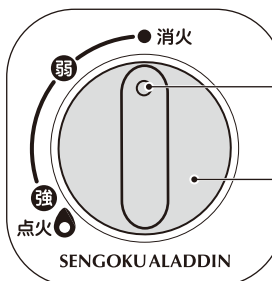
風防板上

付属品



収納袋

操作部



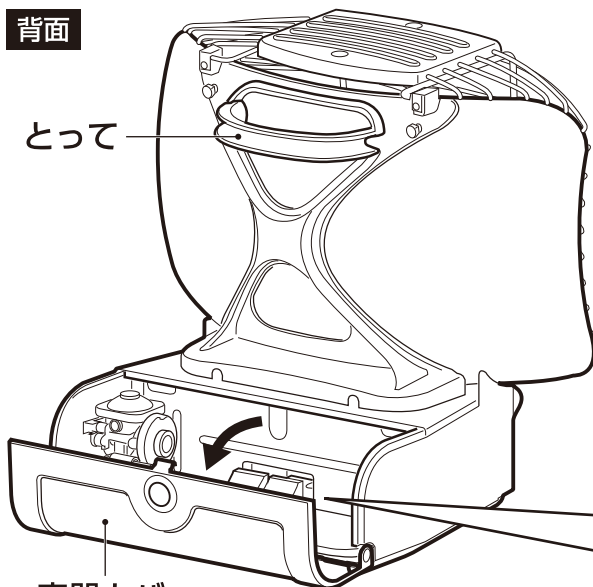
合わせ印

器具せん
つまみ

SENGOKU ALADDIN

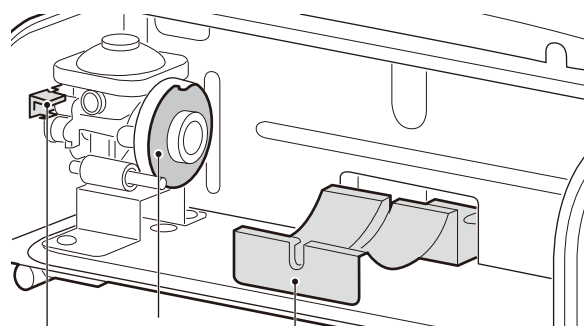
背面

とって



容器カバー

本体内部



マグネット

ヒートパネル

圧力感知安全装置リセットレバー

不完全燃焼防止装置付

- お部屋の酸素不足などによる不完全燃焼を防ぐ安全装置です。自動的に消火します。

立消え安全装置付

- ご使用中に炎が消えてしまったときにガスを止め、生ガスの放出を防止します。

転倒時消火装置付

- 機器が倒れたり、強い衝撃が加わったとき、自動的に消火し事故を防ぐ安全装置です。

安全装置が作動したときの処置方法

使用中に放熱ネットの赤熱が消えたときは、すぐに器具せんつまみを消火の位置に戻して、安全装置が作動していないか調べてください。

圧力感知安全装置が作動した場合は

- 本体全体を覆ったり、外気温の高い場所で使用したり、極端に狭い場所で長時間使用すると、容器（ボンベ）の温度が異常に上昇し、圧力感知安全装置が働いて途中で消えることがあります。

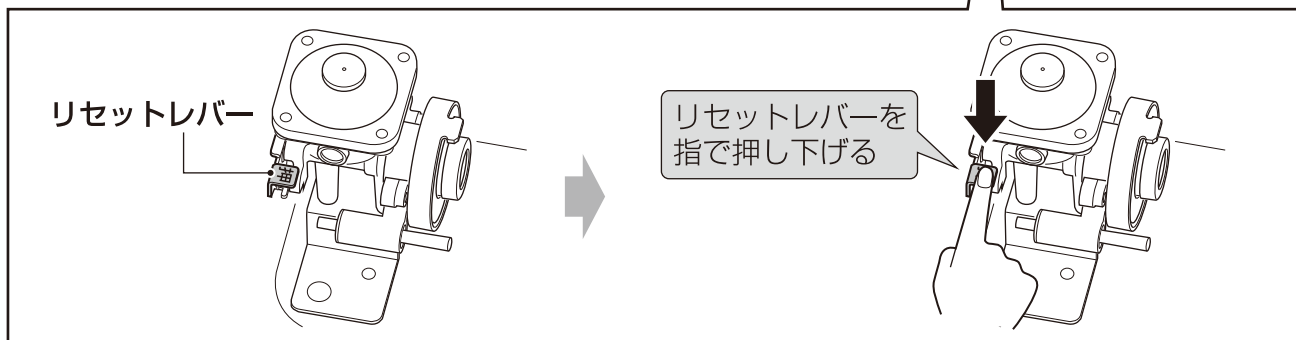
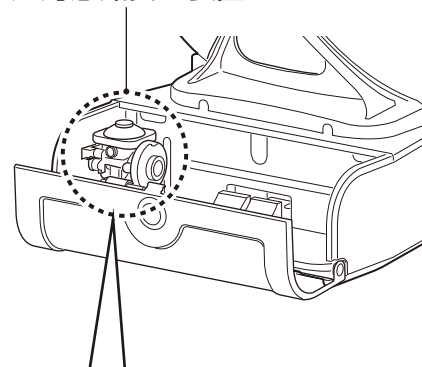
このようなときには、「特に注意していただきたいこと」の項（1～7ページ）を見ていただき、その原因を取り除いてから次の要領でリセットしてください。

※ 機器が十分冷えてから行ってください。

圧力感知安全装置のリセットのしかた

- ① 器具せんつまみを「消火」の位置にしてください。
- ② 容器カバーを開けて容器（ボンベ）を取り外してください。
- ③ 本体内部の圧力感知安全装置のリセットレバーを押して、リセットしてください。（下図参照）
- ④ 予備の容器（ボンベ）をセットしてください。
予備の容器（ボンベ）がない場合には、取り外した容器（ボンベ）が冷えてからお使いください。
※ 容器（ボンベ）の温度が高いうちは、圧力感知安全装置が働いて、点火することはできません。
- ⑤ 点検後、再点火してください。

圧力感知安全装置



立消え安全装置が作動した場合は

- 強い風が吹いたときなど、使用中に炎が消えてしまったときに立消え安全装置が働き、途中でガスを止め消えることがあります。

このようなときには、点検後再点火してください。

不完全燃焼防止装置が作動した場合は

- 室内で換気不十分な状態で使用したり、本体内部にほこりが詰まり空気が十分取り入れられないときなどに、不完全燃焼する前に不完全燃焼防止装置が働いて途中で消えることがあります。

一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがありますので、十分にお部屋の換気を行ってから、再点火してください。

転倒時消火装置が作動した場合は

- 機器が倒れたり、強い衝撃が加わったときなどに、転倒時消火装置が働いて消えることがあります。
いったん器具せんつまみを「消火」にし、1分程待ってから再点火してください。すぐに点火しますと、転倒時消火装置が作動しているため、ガスが流れず点火しません。

お 願 い

- 安全装置が作動した後、点検して再点火してもたびたび同じような作動をくり返すような場合は、お買い上げの販売店、または当社のお客さま相談室にご相談ください。

正しい使いかた

⚠ 警告

- 故障または破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。
- 容器（ボンベ）を確実に装着しないとガスが漏れて火災の原因となります。
- 容器（ボンベ）をセットしても「シュー」と音がしてガスの臭気がある場合には、完全に装着されていません。もう一度よく注意して取付け直してください。装着が不十分な状態で使用すると火傷や事故の原因になります。
- 「シュー」と音がしてガス漏れが止まらないときは使用しないで、点検修理を依頼してください。漏れたガスを完全に追い出すまでは、絶対に火気、電気器具は使用しないでください。

⚠ 注意

- 必ず容器受けガイドの凸部と容器（ボンベ）の切りかきの位置を合わせて取り付けてください。
- 未点火の状態で器具せんつまみを「消火」以外の位置にしておくと生ガスが出て危険です。
- 容器（ボンベ）が冷えていますと火力低下を起こします。40℃以下の暖かい場所で保管した、できるだけ新しい容器（ボンベ）をご使用ください。

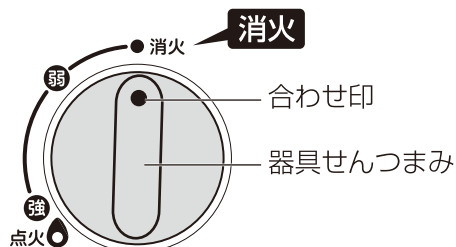
■設置場所（使用場所）及び周囲の防火処置

- テント内、車内、トイレ、浴室など密閉された場所では使用しないでください。
- 引火物、可燃物が周囲にある場所では火災のおそれがありますので使用しないでください。
- 強い風の吹き込む場所や、出入口など人の通る場所では使用しないでください。
- 水平な場所で使用してください。振動の激しい場所では使用しないでください。
- 他のヒーター、ストーブなど大きな熱源のそばでは使用しないでください。火元の熱で容器（ボンベ）が過熱され、爆発のおそれがあります。

容器（ボンベ）の取り付けかた

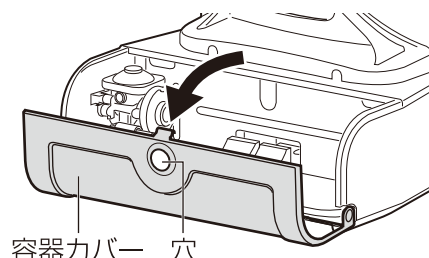
※ 容器（ボンベ）を取り付ける前に、必ず器具せんつまみが「消火」位置にあることを確認してください。

1. 器具せんつまみを「消火」方向に、止まるまで回して器具せんを閉じる



2. 本体の容器カバーを開ける

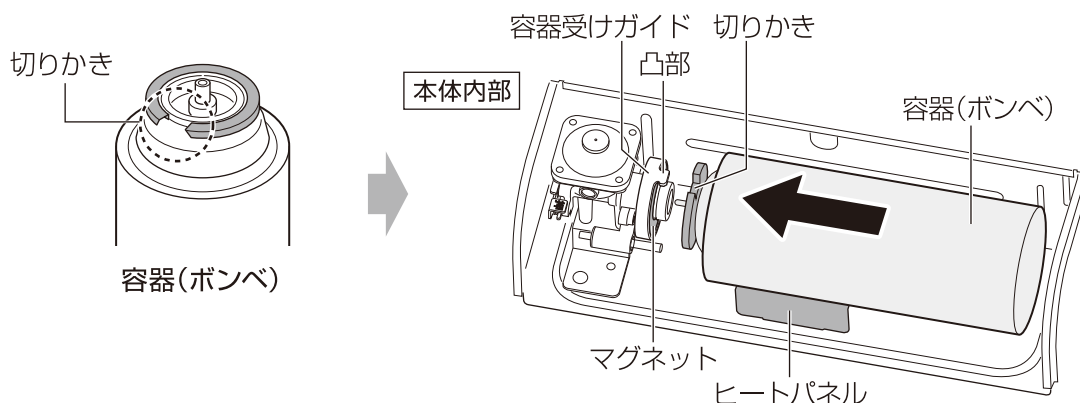
- 容器カバーの穴に指をさし込み、開いてください。



3. 容器（ボンベ）を取り付け、容器カバーを閉じる

- ① 容器（ボンベ）の切りかきを上側にして、本体内部のヒートパネルにのせる
- ② 容器（ボンベ）の切りかきを、容器受けガイドの凸部に合わせながら、容器（ボンベ）を突き当たるまでゆっくりとさし込む

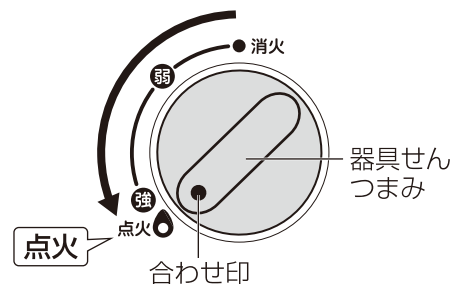
※ 容器受け部はマグネット式です。容器（ボンベ）をマグネットに確実に密着させてください。



点火のしかた・火力調節のしかた

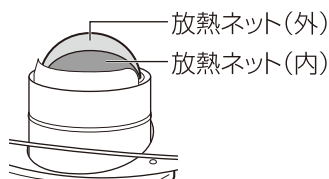
1. 器具せんつまみを「点火」の方向にゆっくりと回す

- ・“「カチッ」と音がして点火します。点火を確認したら、器具せんつまみを5秒間ほど回した状態を保持してください。その後、器具せんつまみから手を離すと、少し戻り「強」の状態になります。
- ・一度で点火しない場合は、くり返し点火を行ってください。
- ※点火していない状態で、器具せんつまみを点火の位置で放置すると、生ガスが出て危険です。必ずバーナーへ点火したことを確認してください。

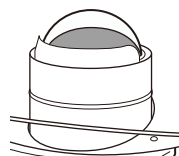


2. 火力を調節する

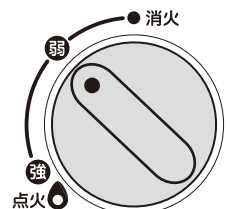
- ・器具せんつまみを「強」または「弱」の位置に合わせて火力を調節してください。
- ・火力「強」で燃焼中は、放熱ネット（外）と（内）が赤熱し、火力「弱」で燃焼中は放熱ネット（内）が赤熱します。
- ※火力を調節するときは、器具せんつまみをゆっくり回してください。



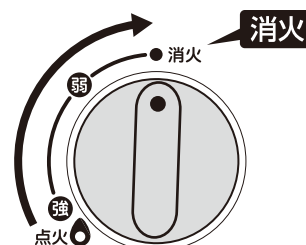
火力「強」で燃焼中



火力「弱」で燃焼中



「弱」に合わせた場合



消火のしかた

1. 器具せんつまみを「消火」の方向に止まる位置まで回す

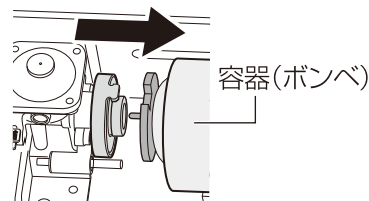
- ※必ず消火したことを確認してください。

容器（ボンベ）の取り外しかた

1. 器具せんつまみを「消火」の位置に合わせてから容器カバーを開ける

2. 容器（ボンベ）をゆっくり取り外し、容器カバーを閉める

- ・容器（ボンベ）を、容器受けガイドから引き抜いて取り外してください。



容器（ボンベ）の保管のしかた

※長期間ご使用にならない場合は、14 ページの「保管（長期間使用しない場合）」をご参照ください。

1. 容器（ボンベ）にガスが残っている場合、容器キャップをかぶせてから40℃以下となるところに保管する

- ※ストーブ、こたつなど、他の熱源の近くに置かないでください。
- ※使用済みの容器（ボンベ）は火中に投げ入れないでください。

2. 危険防止のため、容器（ボンベ）を外してからもう一度点火して残っているガスを燃焼させる

- ※容器（ボンベ）を取はずした後も、配管には少量のガスが残っています。

ご 注 意

- 点火初期に数分間燃焼音（ブービー音）がする場合がありますが異常ではありません。
- 点火時や消火時に金属の伸縮音（ピチピチ音）がすることがありますが異常ではありません。
- はじめて使用されたとき、煙やにおいが出る場合がありますが、部品に付着した油などが焼けるためで異常ではありません。しばらく換気しながらご使用ください。

⚠ 警 告

- 使用時に機器を動かしますと、異常燃焼をするおそれがあり危険です。
- 使用中は機器の前方から50cmおよび上方では100cm以内に近付かないようにしてください。放射熱でやけどをするおそれがあります。
- 使い始めのときや、容器（ボンベ）の温度が高いときには、一度では点火しにくい場合があります。消火位置まで一度戻してから、改めて点火操作をくり返してください。

⚠ 注 意

- 器具せんつまみを早く回すと点火しない場合があります。器具せんつまみをゆっくり回して点火してください。
- 使用中や消火後しばらくは機器が熱くなります。手を触れないでください。
- 万一、逆火（異常な燃焼音）が発生したときは、すぐに器具せんつまみを「消火」に戻し、しばらくしてから再度点火をしてください。
- 点火しなかったり、器具せんつまみから手を離れたとき放熱ネットの火が消える場合は、すぐに器具せんつまみを「消火」の位置に戻してから改めて点火操作をくり返してください。

日常の点検・お手入れ

⚠ 注 意

- 日常の点検・お手入れを必ず行ってください。故障または破損と思われるものは使用しないでください。
- 点検・お手入れの際には、必ず容器（ボンベ）を取り外してください。
- 点検・お手入れは機器が完全に冷えてから行ってください。
- 安全装置、ガスの通路部分などは、絶対に分解しないでください。

点 検	お手入れの方法	ご 注 意
機器の汚れ (本体、とってなど)	乾いた布でよくふいてください。汚れのとれにくいときは、中性洗剤で汚れを落とし、乾いた布で十分水気をとってください。	汚れを放置するとさび、故障の原因となります。常にきれいにしておいてください。
反射板の汚れ	ガードを上げ、乾いた布で汚れをふきとってください。汚れがひどい場合は、当社のお客さま相談室にご連絡ください。	汚れがひどい状態で使用を続けると、発煙、発火、異常燃焼、不完全燃焼の原因となります。
放熱ネットの ヒビ割れ、破損	当社のお客さま相談室にご連絡ください。 修理を依頼して部品（放熱ネットSA）を交換してください。 	異常燃焼、不完全燃焼の原因となります。

仕様

製 品 名	LOGOS × SENGOKU ALADDIN ポータブル ガスストーブ
形 式 の 呼 び	81060035
点 火 方 式	圧電点火方式
発 熱 量	強：1.4kW（1200kcal/h）～ 弱：0.5kW（430kcal/h）
外 形 寸 法	幅 約37 × 奥行 約29.6 × 高さ 約33.5（cm）
質 量（本 体）	約4.2kg 容器（ボンベ）を除く
使 用 ガ ス	ブタンガス
出力(ガス消費量)	強：1.4kW（1200kcal/h） 102g/h 弱：0.5kW（430kcal/h） 36g/h】*1
連 続 燃 焼 時 間	強：約2時間30分 弱：約7時間 *2
安 全 装 置	圧力感知安全装置（閉止型）、立消え安全装置、転倒時消火装置、不完全燃焼防止装置
暖 房 の め や す	約 4.5 畳（温暖地を基準としています）
使用容器(ボンベ)	SENGOKU ALADDIN

*1：気温20～25℃時、最大火力で使用したときの30分間実測値を1時間の消費量に換算

*2：気温20～25℃時、最大火力で使用したときの目安時間

使
い
か
た

お
手
入
れ

故障・異常の見分けかたと処置方法

現象 原因	点火しない (点火)	火力が弱い	火力調節ができない	放熱ネットが赤熱しない	容器(ボンベ)が装着できない	ガスの臭いがする	使用中に消火した	消火しない	処置方法	参照ページ
ガスが少なくなっている	●	●					●		新しい容器(ボンベ)に取り替える	14
放熱ネットや内部部品の汚れ	●	●		●					点検修理を依頼する	裏表紙
本体内部のノズルのつまり	●	●		●			●		点検修理を依頼する	裏表紙
器具せんつまみ(点火装置)の故障	●		●			●		●	点検修理を依頼する	裏表紙
器具せんつまみが「点火」になっていない	●								器具せんつまみを「点火」位置にする	10
器具せんつまみを点火後保持していない	●								5秒間ほど回した状態を保持する	11
圧力感知安全装置の故障	●						●		点検修理を依頼する	裏表紙
圧力感知安全装置の作動	●						●		原因を取り除きリセットする	9
立消え安全装置の作動							●		点検後再点火してください	9
不完全燃焼防止装置の作動							●		十分にお部屋の換気を行ってから、再点火してください	9
容器(ボンベ)のセット不良	●								容器(ボンベ)を正しくセットする	10
専用容器(ボンベ)を使っていない	●	●			●	●			SENGOKU ALADDIN専用容器を使用する	3

このような時は故障ではありません

次のような現象が起きましたら、原因を除いて適正にご使用ください。

現象	処置方法	原因
反射板が変色する 光沢にムラがみられる	異常ではありません	反射板にはメッキ加工を施しております。メッキの特性上、光沢にムラが出たり、熱により変色したりする場合があります。
天板、放熱ネット、ガード、 風防板上が変色する	異常ではありません	高熱により変色する場合がありますが、異常ではありません。
支柱表面に色の濃淡 がある	異常ではありません	支柱は材料の加工上、表面に濃淡がある場合があります。
ガード両端の隙間不均一	異常ではありません	ガードの構造上、両端の隙間が不均一になる場合がありますが、異常ではありません。
放熱ネット(外)が 赤熱しない	異常ではありません	火力「強」で燃焼中は、放熱ネット(外・内)が赤熱し、火力「弱」で燃焼中は放熱ネット(内)が赤熱します。
放熱ネットが均一に赤熱しない	異常ではありません	気温や容器(ボンベ)の残量などの使用条件によるもので、本体の異常ではありません。
ガスが出ず、点火が できない	安全装置を調べる	使用中に周囲温度が高く(25℃以上)になると容器(ボンベ)の温度が上がります。このため使用中や消火直後に安全装置が作動し、ガスの供給を止めてしまう場合があります。9ページの「安全装置が作動したときの処置方法」を参考に安全装置をリセットしてください。
放熱ネットの下側から 「ポッポッポッ」と 少し音がする	しばらく燃焼を続ける	点火直後は放熱ネットの下側付近から音がする場合がありますが、5～10分ほど燃焼を続けると、各部の温度が安定して音が弱まってきます。

寒冷時に点火をすると火力が弱い	暖かい場所で保管していた新しい容器（ボンベ）と交換する	容器（ボンベ）の温度が5℃以下の場合は、点火直後から火力が弱くなる場合があります。
寒冷時に連続使用すると火力が弱くなる	容器（ボンベ）を交換する	この機器には容器（ボンベ）を加温するヒートパネルを内蔵していますが、容器（ボンベ）のガスの量が少なくなったり、周辺温度が低い場合には火力低下を起こす場合があります。40℃以下の暖かい場所で保管した容器（ボンベ）と交換してご使用ください。また、消火後、容器（ボンベ）が完全に冷えてしまうと再着火がしにくくなる場合があります。
	ヒートパネルを調べる	容器（ボンベ）とヒートパネルの間に隙間ができると容器（ボンベ）の加温効果が低下します。ヒートパネルと容器（ボンベ）と密着するようにしてください。
寒冷時に使用すると容器（ボンベ）のガスが残る	容器（ボンベ）を温める	気温が低いときは（5℃以下の場合）、容器（ボンベ）内で液体ガスが気化しにくくなります。 <u>40℃以下</u> の暖かい場所で保管した新しい容器（ボンベ）を使用してください。また容器（ボンベ）の温度が極端に低い場合は点火しないか、点火してもすぐに消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

保管（長期間使用しない場合）

- 容器（ボンベ）を必ず機器から取り外し、そのまま点火操作をし、ガス通路の内部に残っているガスを燃やしてください。
- 機器などが汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- 機器の各部が冷えてから、各部の汚れやほこりを布でふきとり、収納箱または袋に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。
- 取り外した容器（ボンベ）は、容器キャップをして、風通しがよく、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
- 保管してある容器（ボンベ）は時々点検して、さびたりしないように手入れを行ってください。

ご 注 意

- 機器に容器（ボンベ）をセットまたは、入れたままの状態では保管することは絶対にしないでください。必ず別々に保管してください。

アフターサービス

■ サービス（点検・修理）を依頼される前に

- (1) 13 ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、一度ご確認ください。
- (2) ご確認の上で、それでも不具合がある場合、あるいは不明な場合は、自分で修理なさらないで、お買上げの販売店、またはお客様相談室にお問合わせください。
- (3) 保証書に記載されている無料修理規定以外は、有償となります。

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後 6 年間となっています。
- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

容器（ボンベ）のお求めは

容器（ボンベ）は、SENGOKU ALADDINとご指定の上、お買い求めください。

アフターサービスをお申し込みになるときは

お買い求めの販売店、または保証書に記載の「お客さま相談室」にお問合わせください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

<利用目的> お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために当社（日本エー・アイ・シー（株）、（株）ロゴスコーポレーション）及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合> 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

「取扱説明書のダウンロード」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

aladdin-aic.com （ **日本エーアイシー** **検 索** で検索してください。）

故障・修理の際の連絡先

修理・故障などのアフターサービスについてご不明な点はお買上げの販売店か、右記へお問い合わせください。窓口の内容は予告なく変更させていただく場合がございます。

日本エー・アイ・シー(株)
お 客 さ ま 相 談 室

フリーダイヤル



0120-88-3090

受付時間：平日9：00～17：00
（土曜・日曜・祝日・夏季休暇・年末年始を除く）

日本エー・アイ・シー株式会社 本社 〒675-2462兵庫県加西市別所町395番地
☎ 0790(44)1025 FAX0790(44)2191